

目標指標の見直しについて（案）

目標	指標名	現 計 画			新たな目標値	見直しの考え方
		目標数値 目標年次	現 状		目標数値 目標年次	
I 誰もが移動しやす 交通環境を整備する	公共交通利用者数	4,200万人 H30年度	3,090万人 H22年度	鉄道の利用者数はほぼ横ばいだが、バスは年々減少している。	現計画通り	「戦略」の計画期間(H30)を目標年次としている。
	都市計画道路の整備率	66.2% H24年度	67.4% H22年度	整備が順調に進み、目標値をすでに達成している。	73.1% H29年度	総合計画の改定を見据えながら、今後の事業の見直しを基に設定した。
	交通での移動に関する市民満足指標	43.0% H24年度	33.0% H23年度	「戦略」策定以降、満足度はほぼ横ばいの状況である。	現計画通り	総合計画と連動した指標であるため据置くこととし、総合計画改定の動きを注視しながら見直しの必要性や内容等を検討する。
II まちづくりに資する 交通環境を整備する	公共交通夜間人口カバー率 (市街化区域)	100% H30年度	75% H23年度	「戦略」策定以降、バス路線の新規運行や廃止はなく、カバー率に変動はない。	現計画通り	「戦略」の計画期間(H30)を目標年次としている。
	中心市街地通行量 (休日)	143,000人 H24年度 ※28地点	104,076人 H23年度 ※28地点	中心市街地の通行量は年々減少傾向がみられ、目標数値から大きく下回っている。	49,300人 H26年度 ※10地点	関係計画である「宇都宮市中心市街地活性化基本計画」の目標と整合を図る。 (調査地点を28地点から10地点に変更) ※10地点合計(H21)46,987人
	新規 レンタサイクル 利用者数	—	31,000人	おもてなしレンタサイクルや電動アシスト自転車の導入により、レンタサイクル利用者の利便性向上を図っている。	41,000人 H27年度	自転車のまち推進を示す指標として、新規に設定する。
III ひとや環境にやさしい 交通環境を整備する	ひとにやさしいバスの導入率	30% H22年度	34.0% H23年度	事業者との連携のもと導入が順調に進み、目標値を達成している。	52.0~60.5% H30年度	バリアフリー新法に基づく「移動円滑化の促進に関する基本方針」の改正(H23.3)に基づき、導入の促進を目指すこととするが、事業者の動向も踏まえながら、導入率だけでなく運行率にも着目し目標値を設定する。
	市域の温室効果ガスの排出量の削減量	市民:2.25t 事業者: 121.1t H24年度		第2次宇都宮市環境基本計画のリーディングプラン「低炭素のまちつつのみやの実現」につながる施策事業を中心に温室効果ガス削減の取組を推進している。	現計画通り	現時点では据置くこととするが、H24策定予定の「地球温暖化対策地方公共団体実行計画」の検討と連動しながら、見直しの内容等を精査していく。